

特別賞

京都府

福知山駅付近連続立体交差事業

都市名	福知山市	事業主体	京都府
事業概要			
福知山駅は福知山市の中心部に位置し、JR3線、北近畿タンゴ鉄道 (KTR) のターミナル駅であるが、鉄道により市街地が二分され、人もの、情報の交流に限られた区域で行われていた。また、踏切遮断に起因する交通渋滞の解消や、危険な踏切の除却が課題であった。本事業は、鉄道の高架化により9箇所の踏切を除却し、交差する10路線の道路と9路線の側道を整備することで、踏切周辺の交通の円滑化を図るとともに、地域分断の解消によりまちの更なる発展を目的とした事業である。			
○事業延長：約6.1 km ○事業費：約315億円 ○事業期間：平成4年度～平成21年度			
○高架延長：KTR宮福線 約1.2 km、JR山陰本線 約2.6 km、JR福知山線 約1.3 km、JR電車基地通路線 約1.0 km			
表彰理由			
踏切周辺の渋滞が著しく解消された点や、交差道路の整備により交通の円滑化に大きく貢献した点、駅舎のバリアフリー化や駅及びその周辺の歩道整備により安全性が向上した点が評価された。 また、現在、駅の南北地域において一体的なまちづくりを目指した土地区画整理事業を進めており、本事業によるまちの発展への貢献についても高い評価を受けた。			



交差道路の整備状況

